

北大病院に「軽度認知障害センター」設置

～最適な治療法を含めた療養方策の紹介と研究を推進～

【概要】

令和5年10月1日、北海道大学病院では、認知症に対して適切な診断を行い、アルツハイマー病の原因物質に作用する新しい疾患修飾療法の円滑な導入を諮る体制を構築することと、認知症の予防、診断、治療に関する先進的研究を推進することを目的として「軽度認知障害センター(MCIセンター)」を設置しました(センター長: 北海道大学病院 脳神経内科 矢部一郎 教授、副センター長: 北海道大学病院 精神科神経科 久住一郎 教授)。

【センター設置の経緯と意義】

高齢化に伴い、認知症患者数は増加の一途をたどり、2025年には日本国内で約700万人になると予想されています。またほぼ同数の認知症前段階ともいわれる軽度認知障害者(MCI)が推定されています。認知症にはたくさんの病型がありますが、アルツハイマー病がその半数以上を占めています。アルツハイマー病患者さんでは、発症前から脳内にアミロイドβタンパク質が時間とともに蓄積した後に、もの忘れの症状が進行します。

2023年秋に、このアミロイドβの蓄積を除去する新しい治療薬が登場する予定であり、今後も同様の新薬が複数開発される可能性があります。これらの新規治療薬の適応は、アミロイドβの脳内蓄積が確認されたMCI及び初期の認知症患者さんに限られます。また、特有の合併症(脳出血や脳浮腫など)を生じることもあるため、十分な投与前の検査と投与後の経過観察が必要になります。

軽度認知障害センターでは、正確な診断を行い、認知症の人それぞれに対して、新しい治療薬も含めた最適な治療法や生活習慣を含めた改善方策を紹介することを目的としています。さらに、北海道大学内をはじめとした研究機関と連携し、認知症の予防、診断、治療についての研究を推進します。

【開始時期】

令和5年10月1日より本センターの活動を開始いたします。

お問い合わせ先

北海道大学病院 脳神経内科 教授 矢部 一郎 (やべ いちろう)

T E L 011-706-6028 F A X 011-700-5356

メール neurosec@med.hokudai.ac.jp

配信元

北海道大学病院総務課総務係 (〒060-8648 札幌市北区北 14 条西 5 丁目)

T E L 011-706-7631 F A X 011-706-7627

メール pr_office@huhp.hokudai.ac.jp